

各位

会社名

**TOMOEGAWA**

登記社名：株式会社巴川製紙所  
コード番号 3878

(URL <https://www.tomoegawa.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 井上 善雄  
問合せ先 取締役専務執行役員

CFO 経営戦略本部長 山口 正明

(TEL 03-3516-3403)

## 2022年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年7月21日に公表しました2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,000	百万円 800	百万円 750	百万円 700	円 銭 69.74
今回修正予想 (B)	16,000	1,000	1,200	800	79.11
増減額 (B-A)	—	200	450	100	—
増減率 (%)	—	25.0	60.0	14.3	—
(ご参考) 前年同一期間実績	13,950	△865	△812	△1,674	△167.20

#### 2. 2022年3月期 通期連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 33,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 1,000	円 銭 99.63
今回修正予想 (B)	33,000	1,400	1,600	1,200	118.67
増減額 (B-A)	—	200	400	200	—
増減率 (%)	—	16.7	33.3	20.0	—
(ご参考) 前年同一期間実績	30,768	△15	145	△1,152	△114.84

#### 3. 修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績予想は、半導体関連などの好調により製品構成が改善した他、新規開発案件に関する試作品収入や当初予定していた修繕工事などの実施時期の見直しなどに加え、ディスプレイ向けフィルム加工を行う持分法適用関連会社の業績が好調であったことなどから、利益面では前回公表予想を上回る見通しとなりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の収益増の一因となった当年度モデル向けスマートフォン用光学フィルム案件の受注ピークが過ぎたことに加え、今後の半導体市場の需給調整見込みや、原材料費・燃料費や物流コストなどの上昇もあり、下期における利益率は上期と比較して低下することを見込んでおります。一方、本日付けで別に公表しました当社の洋紙事業における資産等の一部譲渡に伴う特別利益の計上を見込んでいることを踏まえ、通期での連結業績予想は上記のとおり修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上